

1 社会・治安情勢

ザンビアの主要輸出品である銅の国際価格の下落傾向はあるものの、海外直接投資や非伝統的輸出品の伸びを受けて、ザンビアのマクロ経済は引き続き好調に推移している。一方で、貧困率は依然として高く、特に首都ルサカ市、リビングストーン市観光地区、コッパーベルト州の主要都市等を中心に失業者やエイズ孤児等が溢れており、貧困に起因する犯罪が後を絶たない。また、都市への人口流入と当局の治安維持能力の低さがこれを助長している。これに加え、周辺国の紛争発生時に難民と共に流入した軍用の銃器が依然として多く出回っているため、犯罪の手口が凶悪化、組織化しており一般犯罪は依然として高く、治安の改善はみられない。

2 一般犯罪・凶悪犯罪の傾向

(1) 在留邦人が多数居住し比較的安全とされている地域においても昼夜を問わず銃器を使用した複数犯による住居侵入強盗、車両強盗、路上強盗が頻発している状況であり、在留邦人がいつ被害に遭ってもおかしくない状況である。また、その地域を取り囲むようにコンパウンド（貧困層地区）が存在し、犯罪の温床となっている。さらには、若年層の新規雇用低迷、生活インフラ整備の不足等の生活環境が厳しい中で、多くの人々が不満を抱えており、いっどこで抗議、暴動が発生してもおかしくない状況である。

(2) 邦人被害事案

ア 南部州ジンバ市内において、8月12日朝、在留邦人が自宅から出勤する際に自家用車に近づいたところ車両内が荒らされているのに気付いた。夜間帯に車上荒らしにあった模様であり、カーバッテリー、カーナビ及び車内に保管していたUSBメモリが盗難に遭った。

イ ルサカ市内において、9月9日朝、短期在留邦人が滞在先のホテルから出勤する際に自家用車に近づいたところ運転席の扉鍵が壊されているのに気付いた。夜間帯に車上荒らしにあった模様であり、車内が荒らされた形跡のみで盗難の被害はなかった。

(3) 邦人以外の被害事案

ア 強盗

(ア) 住居侵入強盗

ルサカ市内において、7月25日夜間、銃器で武装した複数の犯人が住居に侵入、高額の家財物品を奪い逃走する事件が発生。なお、当館が認知しているだけで同様の住居侵入強盗は7月から9月までの間67件発生している。

(イ) 商店侵入強盗

ルサカ市内において、7月1日夜間、銃器で武装した2人組の犯人一味が商店に侵入、店員を脅し高額現金を奪い逃走する事件が発生した。なお、当館が認知しているだけで同様

の商店侵入強盗は7月から9月までの間9件発生している。

(ウ) 車両強盗

ルサカ市内において、7月1日夜間、拳銃で武装した2人組の犯人一味がタクシー（トヨタカローラ）に乗車し道中ドライバーを拳銃で脅し車両を奪った。ドライバーは道中で車から降ろされて犯人は逃走した。なお、当館が認知しているだけで同様の車両強盗は7月から9月までの間15件発生している。

イ 殺人

ルサカ市内において、8月5日夜間、男女関係の纏れから男性が女性をナイフで刺し殺す事件が発生した。

ウ 詐欺

ルサカ市内において、7月5日夜間、高額現金が奪われる詐欺事件が発生した。なお、当館が認知しているだけで同様の詐欺事件は7月から9月までの間10件発生している。

エ 放火

ルサカ市内において、7月8日夜間、住居が放火され、高額家財と高額現金の焼け跡が発見される事件が発生した。なお、当館が認知しているだけで同様の放火事件は7月から9月までの間4件発生している。

オ 強姦

ルサカ市内において、7月29日夜間、6件の婦女暴行事件が発生した。警察は内4件の容疑者を逮捕し、残り2件は追跡調査中である。

3 テロ・爆弾事件発生状況

当該事件の発生は認知していない。

4 誘拐・脅迫事件発生状況

ルサカ市内において、8月12日夜間、銃器で武装した4人組の犯人一味が住居に強盗に入り、家財物品を奪い更に住人の妻（29歳）とその息子（2歳）を拉致し（主人は外出中）逃走する事件が発生した。

5 日本企業の安全に関する諸問題

関連情報なし。（了）